



目指せ金メダル！120万人の大運動会

5/27はチャレンジデー

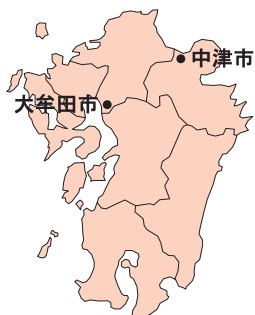
運動した人の参加率を競うチャレンジデー 2009 が5月27日、全国一斉に行われます。
 ことしも昨年に引き続き、市内全区を挙げて参加することになりました。
 皆さんもこの機会に体を動かし、心地よい汗を流してみませんか。

対戦データ

●奥州市（岩手県）
 人口：128,511人
 面積：993.35平方キロメートル
 参加歴：2回目（1敗）

●大牟田市（福岡県）
 人口：128,531人
 面積：81.55平方キロメートル
 参加歴：4回目（1勝2敗）
 市の紹介：かつて三池炭鉱あり、炭鉱のまちとして発展。日本カルタ発祥の地としても知られています。

●中津市（大分県）
 人口：86,383人
 面積：491.15平方キロメートル
 参加歴：初参加
 市の紹介：自然豊かな城下町で、福沢諭吉の出身地でもあります。市制80周年を記念しての参加です。



※人口は2月1日時点

今までの取り組み

本市では、合併前から水沢区と前沢区で、長年にわたって取り組んできた歴史があります。

チャレンジデーとは
 チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で行われている住民参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、決められた時間内に15分以上続けて運動した人の参加率を競います。
 対戦で勝利すると、勝負に敗れた自治体の庁舎に、1週間、市旗などを掲げてもらうことができます。参加率に応じて金・銀・銅メダルの認定制度もあり、各自自治体で住民が一丸となって取り組んでいます。昨年行われたチャレンジデーには、国内の109地域、約120万人が参加し、運動を通じて健康づくりや地域交流に励みました。

ことしは九州の2市と対戦

合併後も区単位で参加していましたが、昨年初めて全市で取り組み、人口の42・2%、5万4601人の参加をいただきました。島根県の出雲市と対戦し、初陣を飾ることはできませんでしたが、地域や企業、学校などでたくさんの方々が体を動かすきっかけとなりました。
 ことしのチャレンジデーは、三者での対戦となりました。対戦相手となるのは、遠く離れた九州の2市。福岡県の大牟田市と大分県の中津市です。
 大牟田市は4度目の参加となり、回を重ねるごとに参加率を高めています。昨年は人口の55%、7万人以上が参加し、念願の初勝利を挙げました。もう一方の中津市は、今回が初参加となります。市制80周年記念イベントとして「市民総参加で挑む」と意気込んでいます。

みんなで体を動かそう

チャレンジデーの参加方法は、当日に15分以上続けて運動することです。ウォーキングや体操など体を動かすことであれば、何でも構いません。その後、運動したことを集計センターに報告して初めて参加者として数えられます。忘れずに報告をお願いします。また各地域では、さまざまなイベントが催されます。この機会に体を動かし、勝利と金メダルを目指しましょう。

◇開催期間 5月27日（木）午前0時～午後9時
 ◇対象 家庭や学校、職場など
 ◇対象 奥州市民、市外からの通勤者や通学者など
 ◇報告先 集計センター（☎0120-199-947、FAX 0120-199-967）

■問い合わせ 本庁スポーツ振興課（江刺総合支所・内線453）



市内では4月19日に奥州前沢春まつり、4月29日に日高火防祭、5月4日に江刺甚句まつりが行われました。それぞれの祭りでは、伝統の行事や特色のあるイベントが催され、沿道に詰め掛けた大勢の観客を楽しませていました。

【関連ページ表紙】

奥州春まつり



1 輪になって甚句踊りを繰り広げる本ばか踊り（江刺甚句） 2 総勢100人の踊り手による百鹿大群舞（江刺甚句） 3 甚句まつりに華を添えた甚句娘の3人（江刺甚句） 4 まとい振りの前に木遣りを行う消防団員（火防祭） 5 みやびな衣装と演奏で観客を魅了したお人形さんたち（火防祭） 6 毎年インパクトのある出し物で参加する三日町組（前沢） 7 かわいらしい鳴子踊りを見せた幼児連（前沢）